

アンケートクロス集計結果

1) 住所別の属性分析	・ ・ ・	1
2) 年齢別の属性分析	・ ・ ・	2
3) 住所別の利用頻度と利用目的分析	・ ・ ・	4
4) 利用目的別の特に重視すべき項目の分析	・ ・ ・	6
5) 年代別の特に重視すべき項目の分析	・ ・ ・	8
6) 利用頻度別の特に重視すべき項目の分析	・ ・ ・	9

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

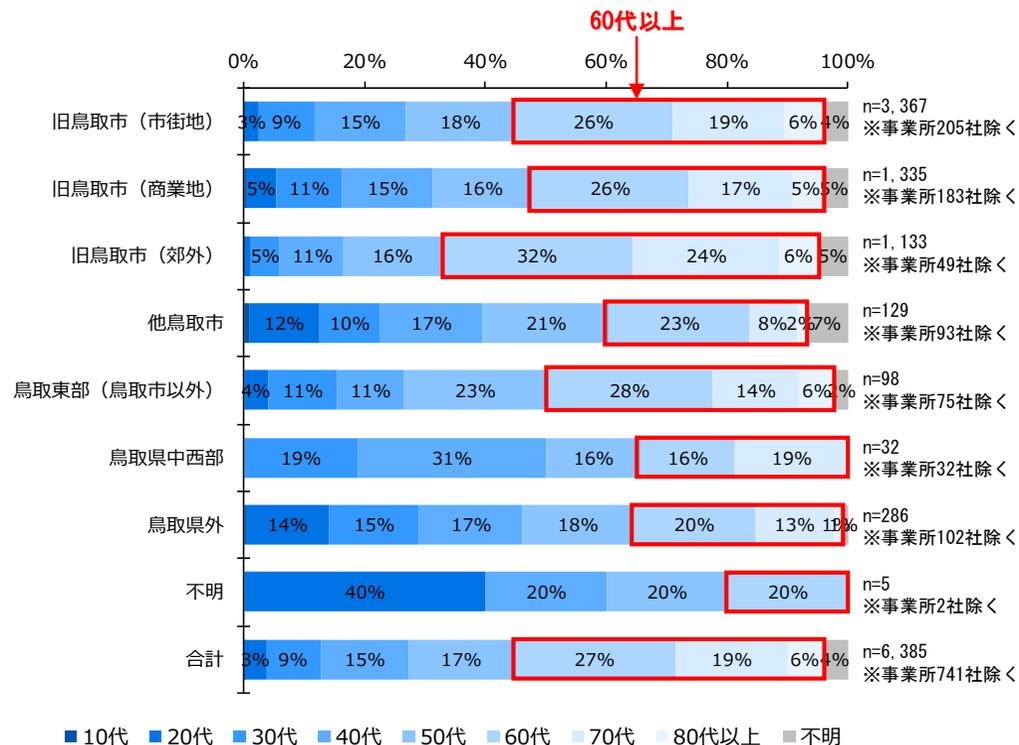
アンケートクロス集計結果

1) 住所別の属性分析 (住民・道路利用者)

○住所別年齢は、旧鳥取市など対象区間沿線地域ほど高齢者(60代以上)の回答割合が高い傾向。
 ○住所別性別は、概ね男性が8割、女性2割である。

【住所×年齢 (住民・道路利用者)】

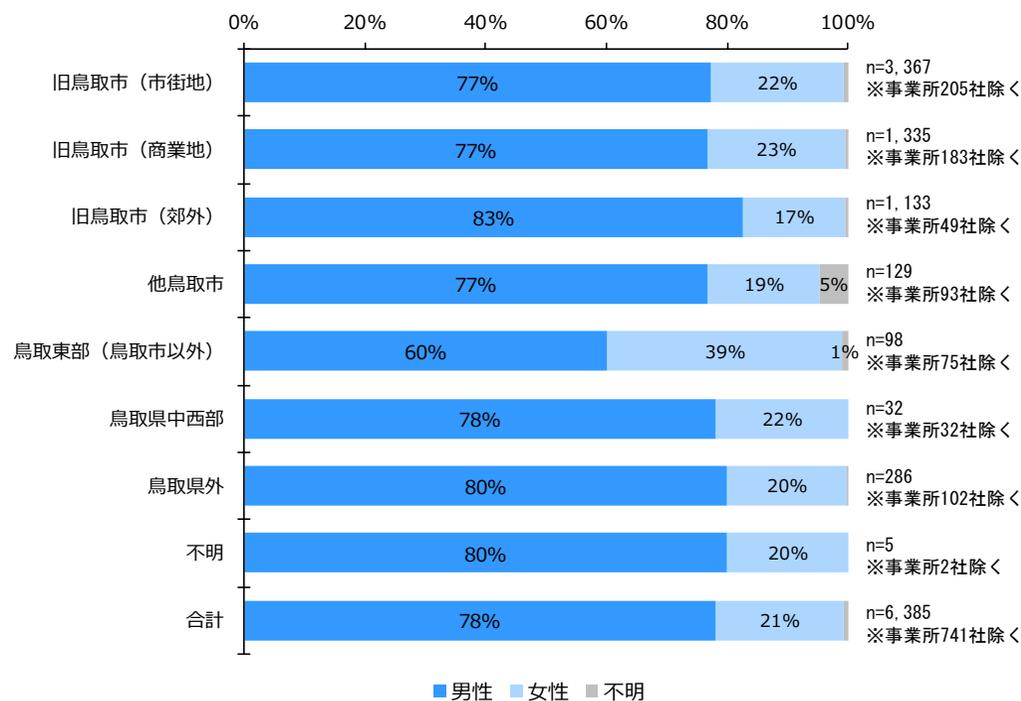
総回答者数 N=6,385



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

【住所×性別 (住民・道路利用者)】

総回答者数 N=6,385



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

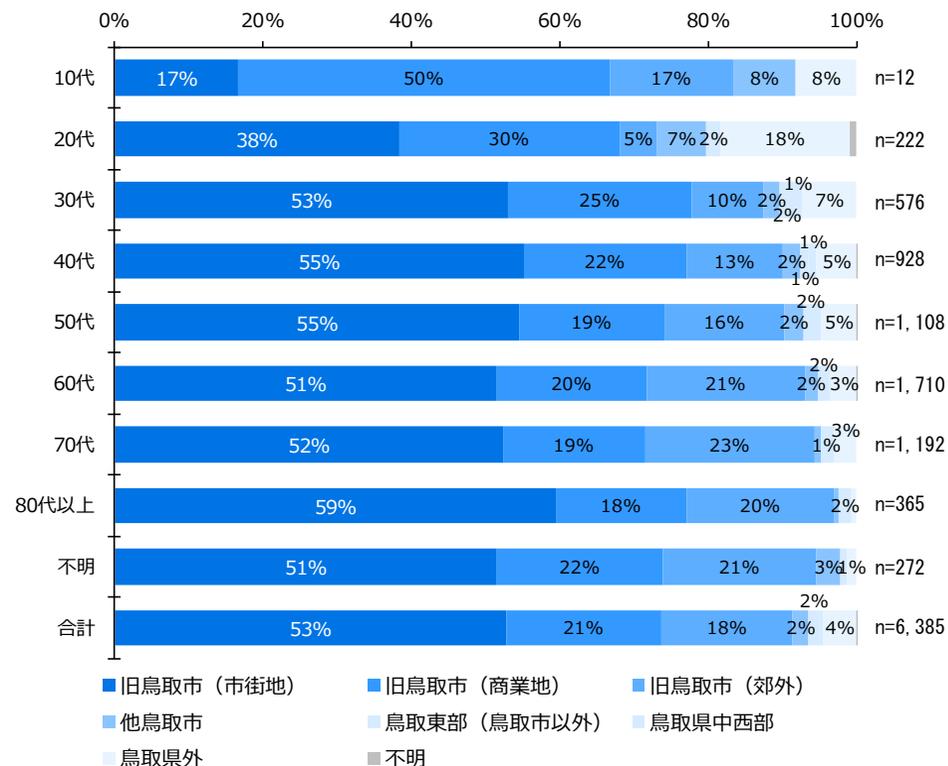
アンケートクロス集計結果

2) 年齢別の属性分析① (住民・道路利用者)

- 年齢別居住地は、高齢になるほど旧鳥取市(郊外)の回答者の割合が高い。
- 高齢になるほど、男性の回答割合が高い。

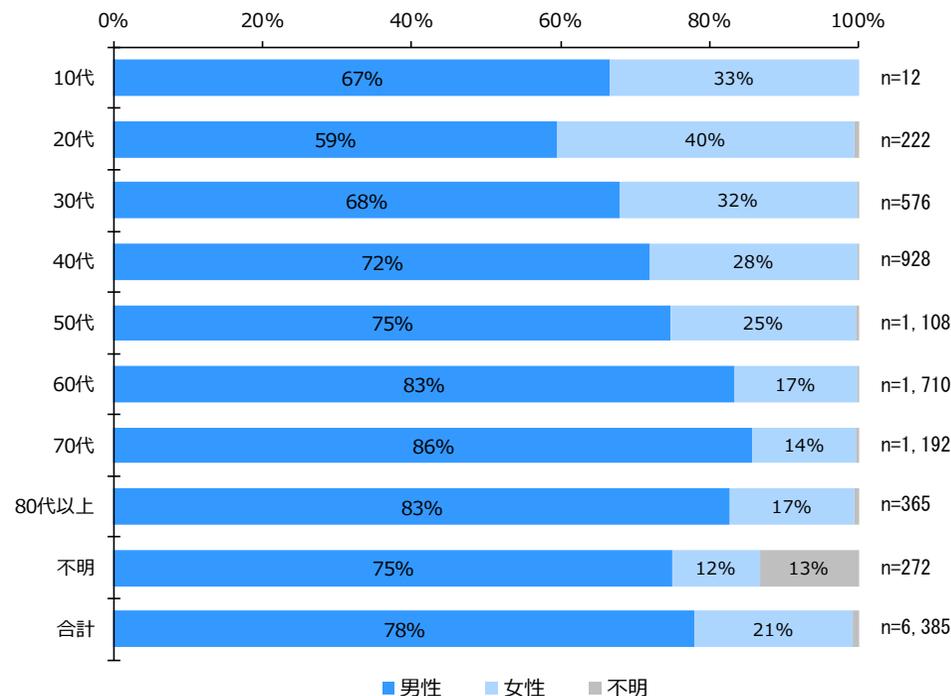
【年齢×住所(住民・道路利用者)】

総回答者数 N=6,385



【年齢×性別(住民・道路利用者)】

総回答者数 N=6,385



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート(n=741)を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート(n=741)を除く

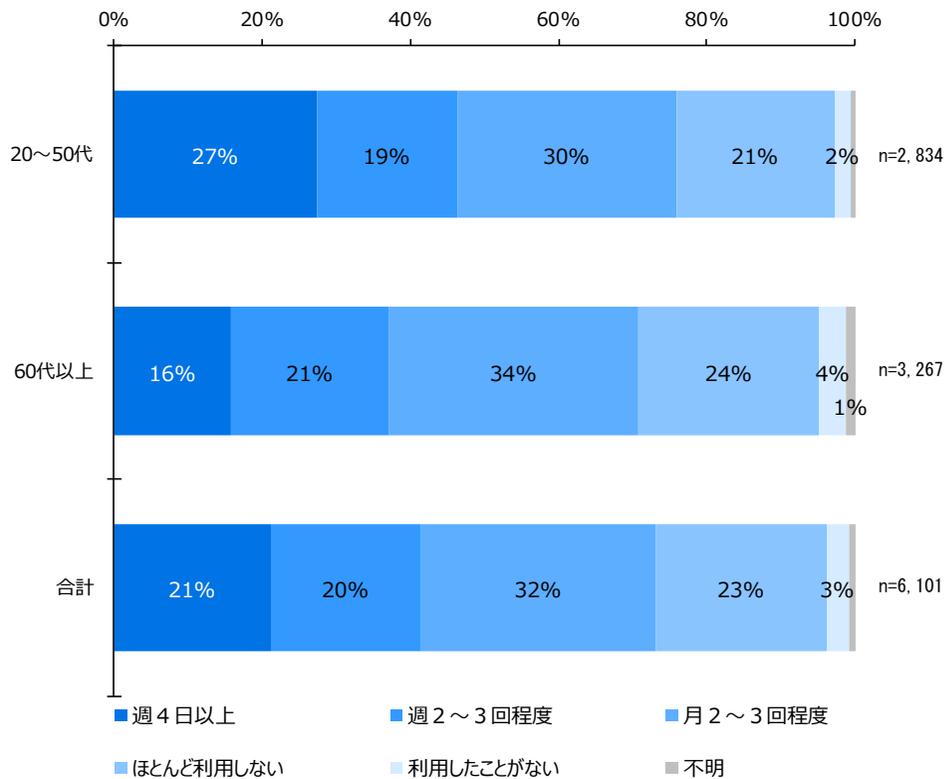
アンケートクロス集計結果

2) 年齢別の属性分析② (住民・道路利用者)

- 年齢別利用頻度は、高齢になるほど利用頻度が低い。
- 年齢別利用目的は20代～50代は「通勤」や「仕事」、60代以上は「家事・買い物」や「観光・レジャー」が高い。

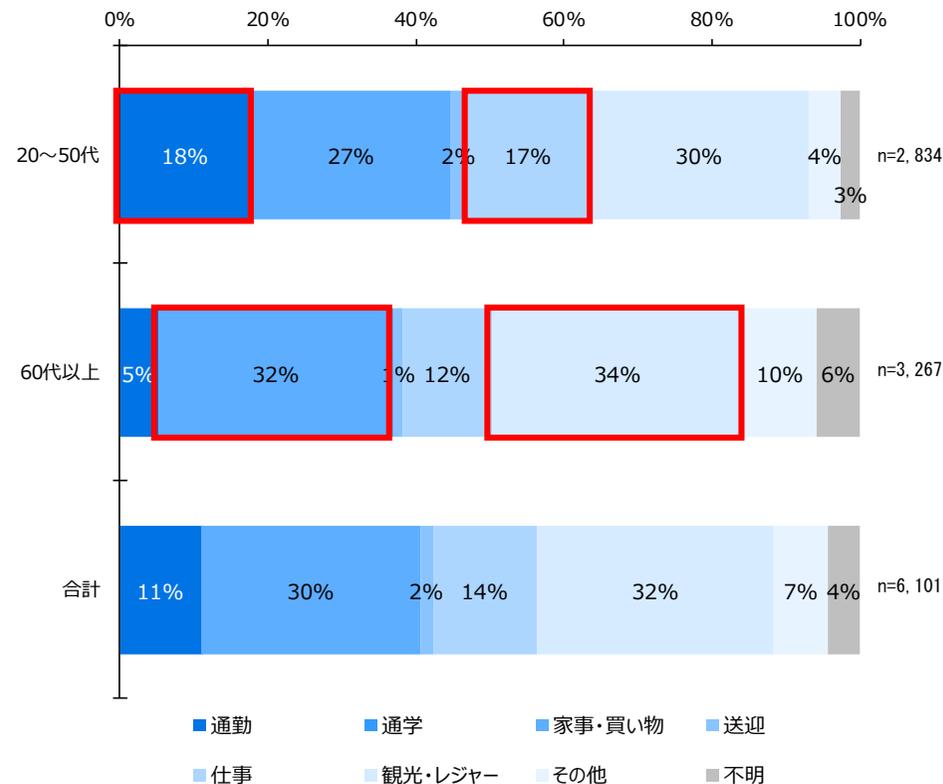
【年齢×利用頻度 (住民・道路利用者)】

総回答者数 N=6,101



【年齢×利用目的 (住民・道路利用者)】

総回答者数 N=6,101



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※上記の内、10代 (n=12)、年齢不明 (n=272) を除く
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

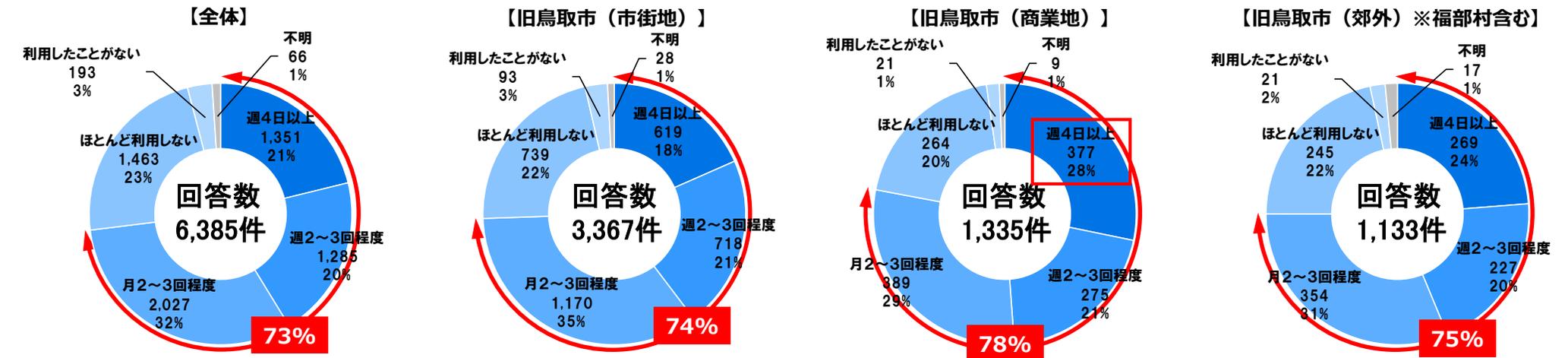
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※上記の内、10代 (n=12)、年齢不明 (n=272) を除く
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

アンケートクロス集計結果

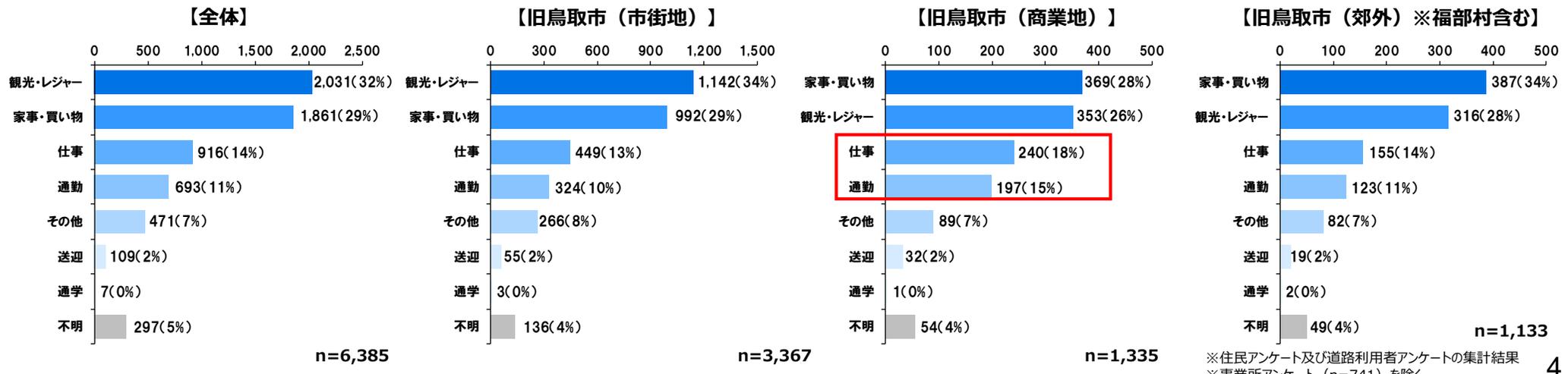
3) 住所別の利用頻度と利用目的分析 (住民・道路利用者)

○住所別の利用頻度は、同じ傾向を示すが旧鳥取市(商業地)が最も利用頻度が高く、週4日以上利用の割合も高い。
 ○利用目的は、全地域において「観光・レジャー」や「家事・買い物」が多い。割合で見ると旧鳥取市(商業地)では、「仕事」と「通勤」が他地域と比べ高くなっている。

【住所×利用頻度 (住民・道路利用者)】



【住所×利用目的 (住民・道路利用者)】



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

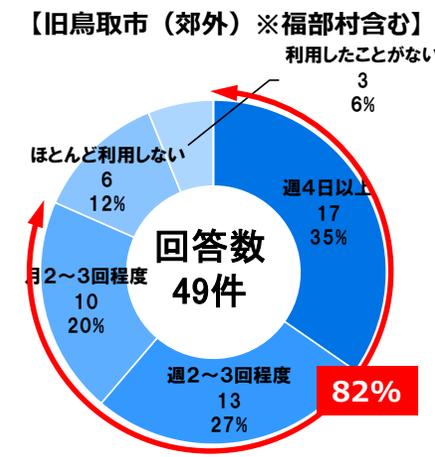
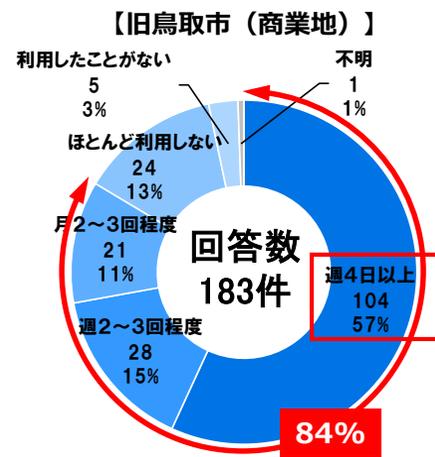
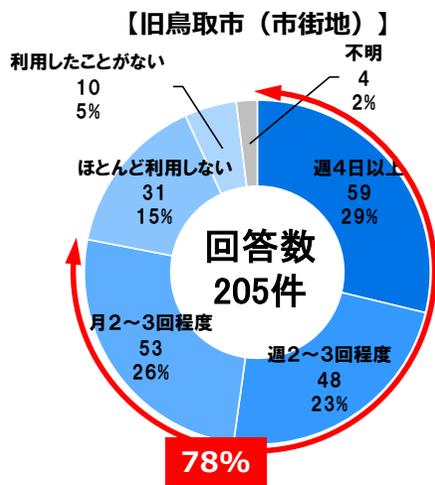
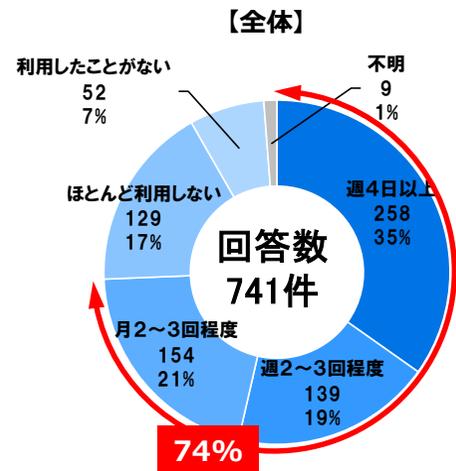
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

アンケートクロス集計結果

3) 住所別の利用頻度と利用目的分析 (事業所)

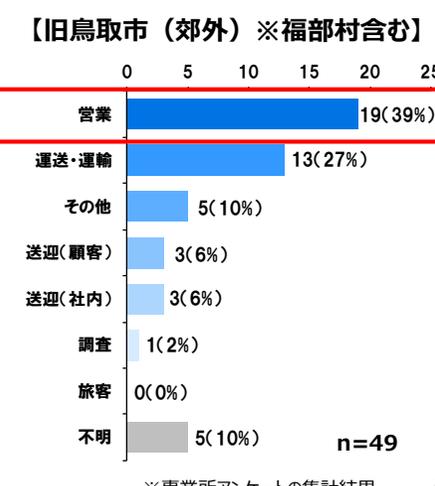
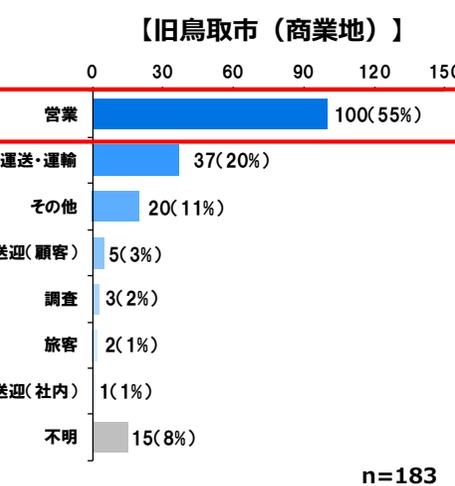
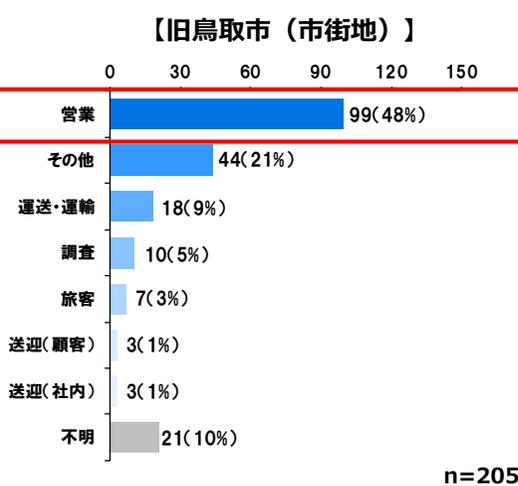
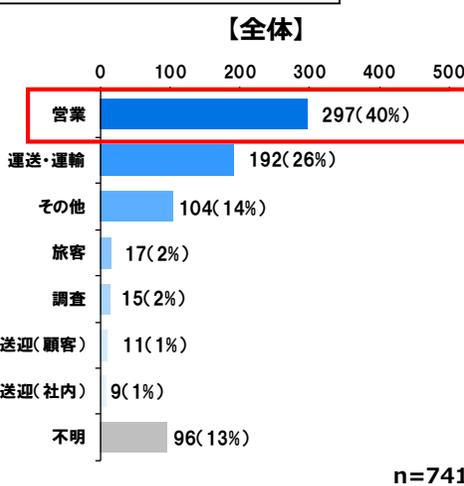
○住所別の利用頻度は、特に旧鳥取市(商業地)が利用頻度が高い傾向にあり、週4日以上利用の割合も約6割と高い。
 ○利用目的は、全地域において「営業」が多く、特に旧鳥取市(商業地)で回答割合が高い。
 ○「運送・運輸」は全体の割合に対し、沿線地域の割合が低いことから、沿線以外の地域からの利用が多いと想定される。

【住所×利用頻度 (事業所)】



※事業所アンケートの集計結果

【住所×利用目的 (事業所)】



※事業所アンケートの集計結果

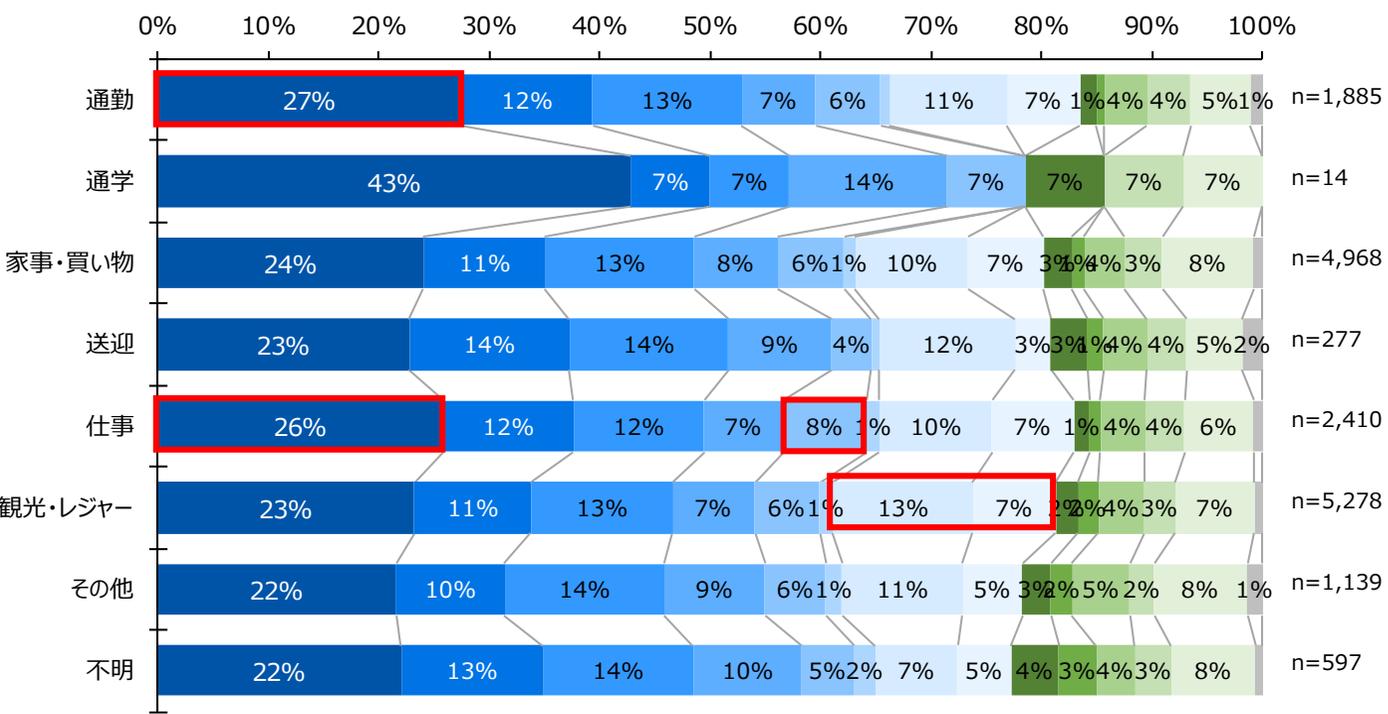
アンケートクロス集計結果

4) 利用目的別の特に重視すべき項目の分析 (住民・道路利用者)

○回答数が極端に少ない通学を除き、全ての利用目的の方が同じ傾向を示しているが、利用目的が通勤や仕事の住民・道路利用者は、「①渋滞が緩和できること」を重視する傾向が強い。
 ○また、利用目的が仕事の場合は「⑤物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること」、観光・レジャーの場合は「⑦高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」、「⑧移動の利便性向上により、周遊性が向上すること」を回答する割合が若干高くなっている。

【重視すべき項目×利用目的 (住民・道路利用者)】

総回答者数 N=6,060



- ### 道路整備による効果・改善点
- ① 渋滞が緩和できること
 - ② 交通事故が起きにくいこと
 - ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
 - ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
 - ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
 - ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
 - ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
 - ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

- ### 配慮すべき点
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
 - ⑩ 景観への影響が少ないこと
 - ⑪ 人口集中地区を極力さけること
 - ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
 - ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
 - ⑭ その他

※住民アンケート及び道路利用者アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、16,568件

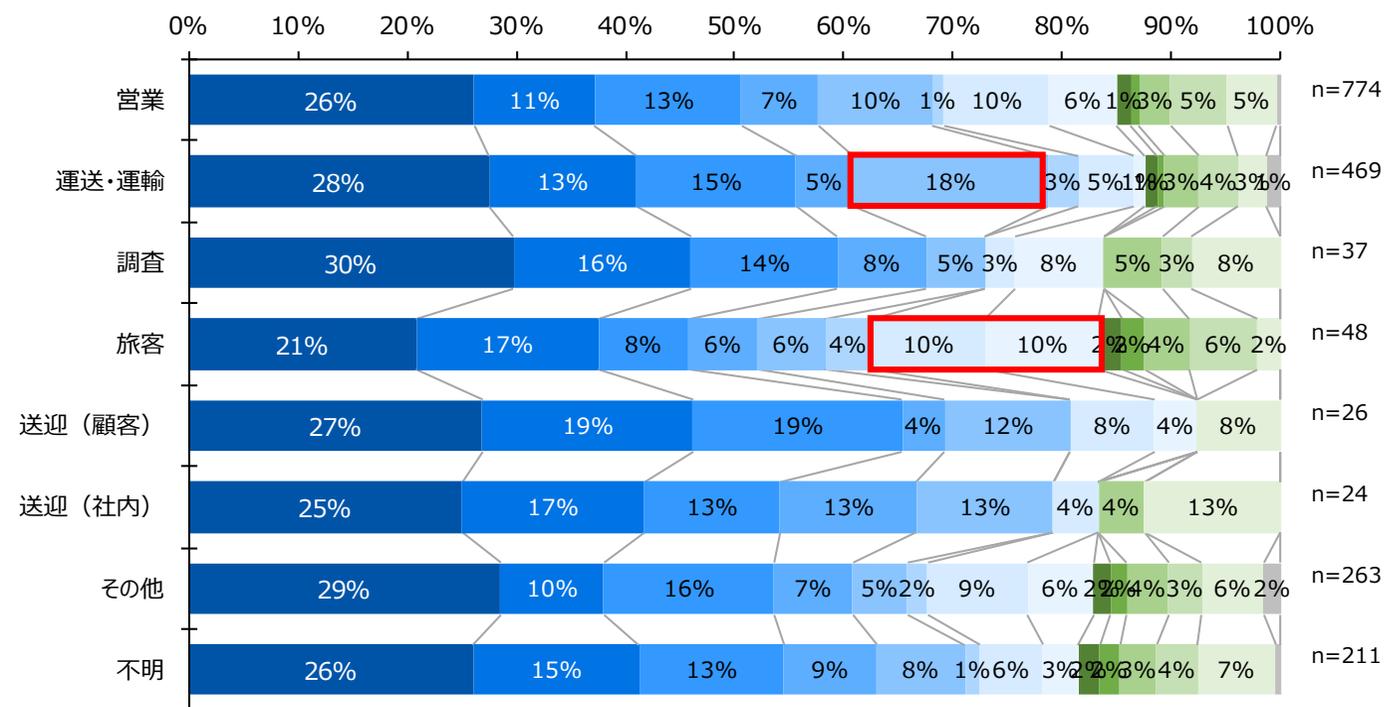
アンケートクロス集計結果

4) 利用目的別の特に重視すべき項目の分析 (事業所)

○利用目的が運送・運輸の事業所は「⑤物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること」を回答する割合が高くなっている。
 ○利用目的が旅客の事業所は「⑦高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」、「⑧移動の利便性向上により、周遊性が向上すること」を回答する割合が若干高くなっている。

【重視すべき項目×利用目的(事業所)】

総回答者数 N=682



- ### 道路整備による効果・改善点
- ① 渋滞が緩和できること
 - ② 交通事故が起きにくいこと
 - ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
 - ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
 - ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
 - ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
 - ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
 - ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

- ### 配慮すべき点
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
 - ⑩ 景観への影響が少ないこと
 - ⑪ 人口集中地区を極力さけること
 - ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
 - ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
 - ⑭ その他

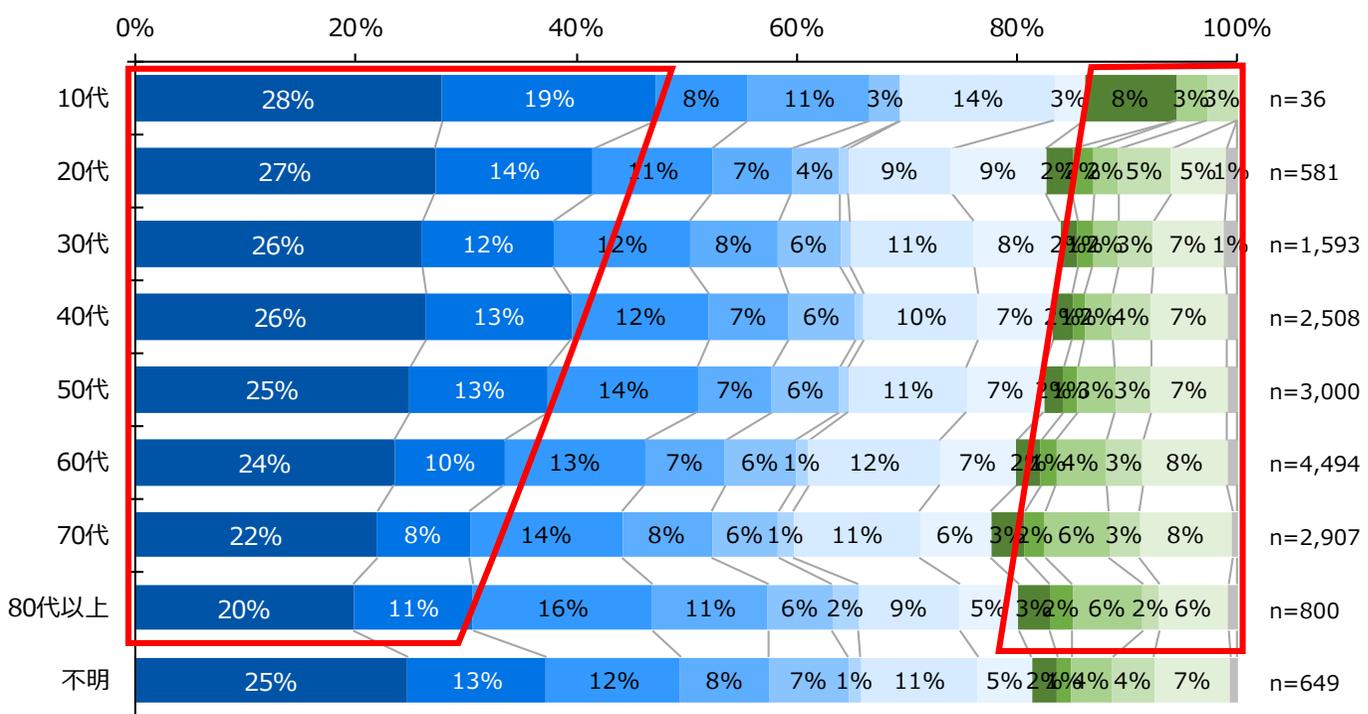
※事業所アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、1,852件

アンケートクロス集計結果

5) 年代別の特に重視すべき項目の分析 (住民・道路利用者)

○年齢が低いほど「①～⑧道路整備による効果・改善点」を重視する傾向にあり、特に渋滞や事故(①と②)について意識が高い。
 ○年齢の増加とともに「⑨～⑬配慮すべき点」を重視する割合が増加しており、特に「⑬道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと」を重視している。

【重視すべき項目×年代(住民・道路利用者)】 総回答者数 N=6,060



道路整備による効果・改善点

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

配慮すべき点

- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他

※住民アンケート及び道路利用者アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、16,568件

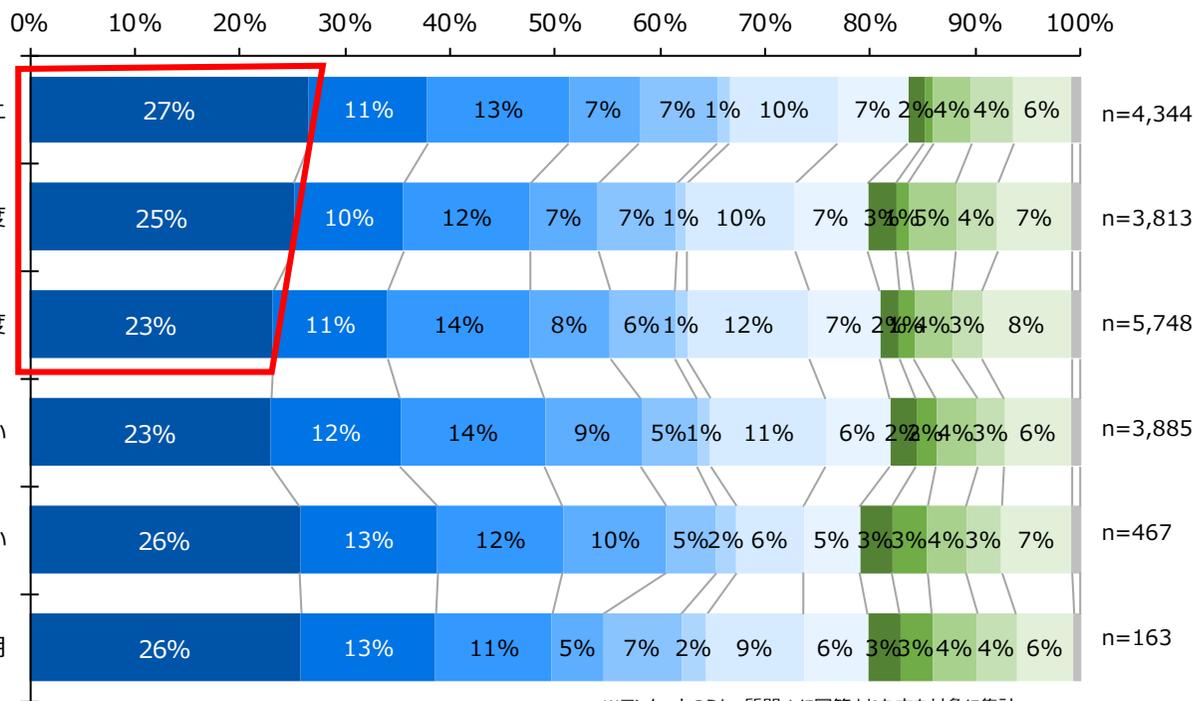
アンケートクロス集計結果

6) 利用頻度別の特に重視すべき項目の分析 (全回答者)

○利用頻度が月2～3回程度以上の中では、利用頻度が高いほど「①渋滞が緩和できること」を重視する割合が高い。

【重視すべき項目×利用頻度】

総回答者数 N=6,742



道路整備による効果・改善点

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

配慮すべき点

- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他

※アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、18,420件